

湘南日独協会 会報

Der Wind

(風)

湘南日独協会会報(Der Wind)

VOL. 13. NO. 5. 通巻78. 発行 2011.9.4

湘南日独協会

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in Shonan

事務局: 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-1-1

江ノ電第2ビル7F

TEL0466-26-3028 / FAX0466-27-5091

オクトーバーフェストの予約をお急ぎ下さい

湘南日独協会の活動予定

お待ちかねの今年の

オクトーバーフェストは

10月1日(土曜日)です!!

予約を急ぎましょう!

振込で(右欄)あるいは事務局へ
どうぞお電話下さい。



鎌倉の青少年のワイマール訪問が実現

湘南日独協会が支援協力

8月21日より26日まで鎌倉市青少年国際交流事業
のひとつとしてのワイマール訪問が実現しました。

ワイマールと鎌倉は市民親善都市としてまた湘南日独
協会とワイマール独日協会は友好協会として長年親しく
交流していますが、若い人たちの交流はなかなか実現出
来ませんでした。この夏は日独交流150周年に相応し
い交流が実現出来た事は湘南日独協会として大きな成果
であります。訪問団には織田会長と会員の竹内三津子さ
んが同行されました。

この訪問団の報告会が例会案内にあるように、鎌倉市
と共催で9月17日に開催されます。是非多くの皆様の
ご出席をお願いしたいと思います。

本誌2頁には竹内さんのご寄稿を掲載しております。

ドイツ語講座のご案内

本年度後期10月~3月の講座が始まります
皆様のご参加をお待ちしております

初級 土曜日 10:00~11:30 松野 義明先生

中級 月曜日 17:30~19:00 小笠原 藤子先生

上級 土曜日 9:30~11:00 小笠原 藤子先生

場所: 初級、上級 藤沢カソリック教会

中級 湘南アカデミア

受講料: 湘南日独協会会員 38,000円(20回)

その他一般の方 43,000円(20回)

お問い合わせは以下へお願い致します

松野 Tel: 0467-32-7300

Fax: 0467-32-7387

e-Mail: matsunoy@kamakuranet.ne.jp

■77回 例会「鎌倉市青少年国際交流-ワイマール訪問 報告会」(本誌左欄ご参照)

日時 9月17日(土) 10:00~12:00

訪問団参加の皆さんと同行された織田会長他の皆さんの
映像を使用しての報告会です。この訪問は今後の若い人
たちの日独交流に大きな力になると思われます。多くの
会員のご出席を希望します。

会場 鎌倉市生涯学習センター(JR 鎌倉駅東口徒歩3分)

会費 無料

湘南オクトーバーフェスト

10月1日(土) 18:30(開演)

会場 グランドホテル湘南

会費 5,000円(お一人)

エーデルワイス・トリオ、合唱団アムゼル他

完全予約制です!!

7月発行の会報にチラシと振込用紙を同封しております
それをご利用するか下記の口座へお振込下さい

振込領収書を当日お持ち下さい

振込口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00210-9-22718

加入者名 湘南日独協会

通信欄 出席人数をお書き下さい(お一人5千円)

■懇話会

日時10月29日(土) 18:00~20:00

「日本に暮らして30年」

講師 ダウシュ・三浦・ハンナ氏(会員)

日本の大学、企業で長年活躍されておられます

会場 江ノ電第2ビル7F

会費 1,000円

■78回例会

日時11月27日(日) 13:30~16:00

「ブラームスの生涯」

講師 林 邦之氏(会員)

会場 江ノ電第2ビル7F

会費 1,000円

■望年会

日時12月11日(日) 16:00~18:30

会場 「土風炉」 藤沢駅徒歩3分

会費 4~5千円

鎌倉市青少年国際交流事業

ワイマール訪問同行報告

会員 竹内 三津子



(竹内さん)

2011年は日独交流150周年、そして鎌倉市とワイマール市が友好都市10年を迎えたことから、鎌倉市では青少年のための日独交流ホームステイの計画をたてた。「幅広い文化を青少年に知ってほしい。」という思いからだ。これをサポートしたのは湘南日独協会とワイマール独日協会である。ホームステイ先はワイマール独日協会の会員宅だ。ワイマールD

JG会長 Lohmann氏と副会長 Bauhausさんには大変にお世話になった。心から感謝申しあげたい。

計画は8月21日から8月26日である。参加したのは中学生、高校生、大学生の9人だ。ワイマールを訪れた彼らは明るい表情で、ホームステイ先に英語で自己紹介をした。2人でお世話になる家と1人でお世話になる家とに分かれ、22日から始まった。

翌日23日に市内見学のため10時に集合した彼らの目はキラキラ輝いていた。彼らは笑顔で昨夜のホームステイ先での事を楽しそうに話していた。24日には予定通りチューリングゲンインターナショナルスクールを訪問した。インタースクールでは、学生からの質問を受けたり、こちらからは「インターの男女共学」について質問をしたりして意見交換をした。交流は折り紙を使って代表的な鶴を折った。小学生から高校生まで興味深く一緒に楽しめたようだった。その後インターで用意していた盆踊りを踊ることになった。飛び入りだったが積極的に日本の高校生2人が前に出て、その踊りと同じように全員で踊った。交流会は和やかな雰囲気であった。午後もう一つ予定されていたのはワイマール市長へ表敬訪問である。由緒ある市庁舎だ。ホールにおおされると私たちのために飲み物が用意されていた。心配りが有難かった。Stefan Wolf市長からは「子供たちにとって有意義になりますように。」と挨拶があり、鎌倉市からは文化推進課課長の青山さんが挨拶をした。そして織田会長が鎌倉市長の親書を読んだ。

最終日26日の朝、どの子もホームステイ先の方々と別れを惜しんでいた。わずか数日であったが子供たちには有効なプログラムであった。9月17日には報告会が行われる。



(ワイマール市内を見学する一行)



(ワイマール市長訪問 中央に市長と織田会長)*



(交流会の会場の様子)

9月17日の報告会には織田会長、鎌倉市青山課長そして参加者が映像を交えて報告されます。若い参加者の報告は非常に興味深いものです。是非多くの皆様のご出席を期待したいと思います。(編集部)

Herzliche Glueckwunsch!

日独交流150周年 日独友好賞

吉田 克彦 理事 が受賞

吉田理事は長年、湘南日独協会の設立と運営等を通して日独交流に多大な貢献があった事が認められ、友好賞を受賞することになりました。

授賞式は10月19日(日)に在日ドイツ連邦共和国大使館大使公邸で行われます

また、吉田氏が現在会長(前社長)でおられ、湘南日独協会の事務局を置かせて頂いております、江ノ電沿線新聞社は創刊35周年を迎えました。ここに祝意を表したいと思います。

新入会員紹介

敬称略

小田 武司	岸 由紀子	鈴木 翔太
竹内 三津子	土屋 真人	御木 理恵
八谷 周策	八谷 多郁子	山崎 正

6月映画会「嘆きの天使」

会員 森長 京子



このFilmは1931年(昭和6年)の製作によるもので80年も前に作られた映画である。80年の風雪に耐えたFilmにも拘わらず管理保存が可成り良かったと推察される。見苦しいところは一つも見当たらなかった。

(この映画は約30年後、アメリカでも製作された。主演したのは大スター Kurt Jurgens です)

ストーリーは高校教師のRath教授(Emil Jannings)は受け持ちの生徒が淫猥な写真を持っている事を知って、謹厳実直な彼は責任上生徒の行動を確かめるべく、Cabaret なる処へ出かけて行った。(ミイラ取りがミイラになる事とは知らずに)教授にとってCabaret は初めての場所であった。

そこで、世にも美しい女性(Marlene Dietrich)の歓待を受け酒を振舞われ、今までに無い魅惑を感じさせられ、そして満足感に満たされた。毎日の様にCabaretに通う様になり、高校はリストラ。行き場の無くなった初老の男は女性からも胡散臭い厄介者に過ぎなかったであろう。女性からも仕事仲間からも疎まれた。失意の内に彼は、深夜人生の大半を培った高校の教室に來た。そして、酔っ払った彼は教卓にしがみついた。死亡したのか、酔っ払って寝込んだだけなのか?それは視聴者の判断によるものである。

「美しき誤解」という言葉にある様に、Rath教授の誤解は余りにも犠牲が大きかった。「美しき女性に魅せられる」こんな経験は若い時に存分に経験して卒業していれば良かったのに。

このFilmはEmil JanningsであってもKurt Jurgensであっても非常に印象の深いFilmであった。

映画解説

西澤 英男氏



映画の上映に当たり、この映画の製作された時代背景、社会的な意味等を解説して頂きました。

西澤氏は湘南日独協会理事であります。ヨーロッパ史研究家として活躍されておられます。講座「ドイツ・オーストリア史—隠れた史実発見—」シリーズのIIが現在開かれています。

シリーズIIIが10月11日より開始されます。

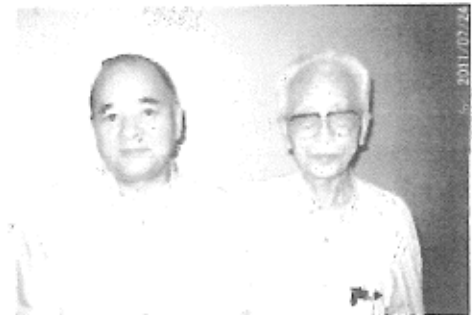
毎月第2火曜日 午後1時30分～3時、
会場は江ノ電第2ビル7階「湘南アカデミア」
詳細は江ノ電沿線新聞社までお問い合わせ下さい。
電話番号 0466-26-3028

7月懇話会「ドイツビールと日本」を謹聴して

会員 廣川 貴男

7月24日開催の例会は、当会の理事でモース研究会会員でもある吉田克彦さんによる「ドイツビールと日本」と題する、時節柄まことに好個なテーマの講演であった。この酒気芬々たる話柄も、吉田さんの温雅飄逸なお人柄からくる口吻の下では、不可思議にも、酒精度は稀釈され、「狂い水」は甘露に変じたる如き心地がする。

国産ビール揺籃期のお話故、「珈琲」や「葡萄酒」と同様、ドイツビールも「獨逸麦酒」と表記せねば時代の空気は伝わらないのでは、などと余計なことを考えつつ、興味尽きないお喋りに耳傾けた。



(筆者廣川氏左と講演者吉田氏右)

日本での麦酒造りは明治初年、薩摩武士の村橋久也と越後人・中川清兵衛という私には馴染み薄い二人の人物が深く関わっている。両人とも幕末に渡欧しており、現地で、或いは帰国後、ビール醸造に携わったようだ。日本国内で国産ビールが販売されるに至るまでには、黒田清隆や青木周蔵の如き新生明治日本を背負って立つ歴史上の超有名人が関与していた。明治9年には北海道開拓使麦酒醸造所が竣工し、翌年には函館で販売が開始されている。手許の『明治事物起原』(石井研堂著)によると、明治10年代には、この他テーブルビール、ストックビール、信濃ビール、桜田ビール、浅田ビール、ライオンビール、アングラービール、ニッシンビール等の国産銘柄が現れ、僅かの間に盛況を見るに至った。

今回の講演は、私の蒙を啓き裨益するところ大であったが、歴史上の新知見を得たことも特記しておかなければならない。あの浦島太郎が龍宮城での饗宴で乙姫からお酌された飲物は、麦酒であったという「事実」がそれである。また、乙姫は碧眼の艶冶な麗人であったということも。向後、亀を捉えたら、優しく遇し、恩を売っておかねばなるまい、さすれば、龍宮城へ・・・(次頁へ続く)



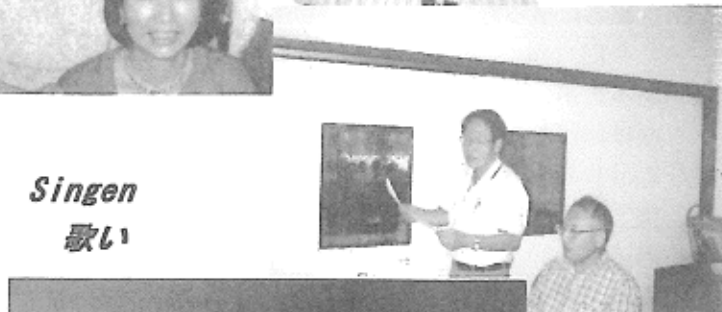
(当日提供頂いた開拓ビールと吉田氏の著書湘南替部)

前頁よりの続き

「ドイツビールと日本人」

講演会会場のホワイト・ボードに貼られた昭和6年製のサッポロ・ビールのポスターは、明治・大正・昭和前期の商業用ポスターの特徴を濃厚に漂わせたもので、妙齡の艶姿の婦人がシナを作って、麦酒を勧める態のもの。旧時代のリリズムと、ちょっぴりのエロティシズムが馥郁とした逸品である。このポスター中の姐さんに秋波を送られながら、講演も進む程、いよいよ渇は弥増し、ディオニソスの愛子たる私は、疾く琥珀色の壺中物にありつきたいものと、ひたすら焦がれるばかりであった。程経て、吉田さんより瓶詰めの“復元開拓使麦酒”が聴衆全員に恵贈された。その御厚志は只々忝く、深謝の他ない。

夕刻、本日の第二会場である茅ヶ崎の「モキチ フーズガーデン」に移動し、昼時来の乾きを癒すことと相なった。当店は、日独協会が2004年4月24日に利用した茅ヶ崎・香川の熊澤酒造が茅ヶ崎駅近くに開いたビヤホールで、同酒造の懐かしい三種類のビール、ピター・リーベ・ルビーを再び味わうことができる。店内に入るや、正面の壁には、全面、本棚が設えられ、内外の文学全集の他、思想・経済・歴史等の書籍が隙間なく架蔵されている。聞けば、先代社長の蔵書だという。何やら、学び舎に引き戻された様な心地して肅然たる思いで宴席に着く次第となりぬ。(了)

Trinken
飲みLachen
笑いSingen
歌いUnterhalten
語り

(モキチ ガーデン にて)

お知らせ

Fest der Freundschaft

150周年記念の日独親睦の集いが開かれます。

詳細はまだ発表されていませんが、概略は以下の様な計画となっています。多くの皆様の参加が期待されています。

日時 10月23日(日)

会場 有栖川の宮記念公園(東京)を中心に、ドイツ大使館、ドイツ大使公邸周辺

催し物 ウルフ・ドイツ大統領、皇太子殿下が150周年行事の両国の総裁としてご来場の予定です。両国に關係する各種の音楽演奏等また売店の計画もあるようです。

湘南日独協会の合唱団「アムゼル」も出演演奏の予定です。

当日は入場料無料の予定です。

~~~~~  
湘南邸園文化祭2011

「原花舟の書と貝あわせ

ヨーロッパを魅了した日本文化」

9月10日(土)～10月2日(日)水曜定休 無料

会場：銀の鈴ギャラリー&amp;サロン(鎌倉市雪の下)

ドイツ各地での巡回展覧会を終えての、「書と貝あわせ」の帰国展です。

湘南邸園文化祭お問い合わせ

電話 045-341-0087

http://teien-festival.seesaa.net/

\*\*\*\*\*

## 編集後記

節電の夏も終わりに近づいていますが、未だ大震災と原発事故で多くの方々が日常生活に戻れない状況は誠に申し訳ないと思います。ドイツからも多大な支援が続いてます。そのような環境下で、鎌倉青少年国際交流事業としてワイマール訪問が実現しました。将来に亘っての日独交流の絆の強化に繋がるものと確信しています。

吉田克彦氏の日独友好賞受賞、江ノ電沿線新聞創刊35周年とお祝いが続きました。江ノ電沿線新聞社の皆様には大変お世話になっております。事務所の提供、電話応対等湘南日独協会の運営に多大なご協力ご支援を頂いている事をあらためてお礼申し上げます。

今回の会報には多くの写真を掲載しました。例会・懇談会にはさらに多くの会員が参加されますよう、内容の検討も続けています。ご意見をお寄せ下さい。

オクトーバーフェストでまた盛り上がりましょう！  
お待ちしております！！(編集責任者 大久保 明)

☆☆ 湘南日独協会のホームページ ☆☆

URL : <http://jdg-shonan.ciao.jp/index.html>

「全国日独協会一覧」からもアクセスできます。